

豊胸術合併症の全国アンケート調査

佐藤 兼重

日本美容外科学会 (JSAPS) 前理事長

大慈弥 (おおじみ) 裕之

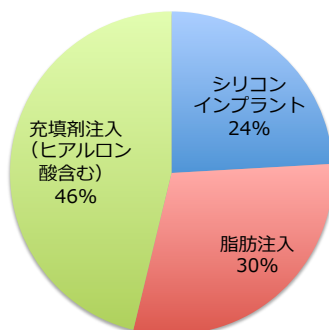
日本美容外科学会 (JSAPS) 理事長

福岡大学医学部形成外科学教授

2017年の豊胸術

- 総手術件数 11,486件

方法	件数
シリコン インプラント	2,768
脂肪注入	3,412
充填剤 (ヒアルロン酸含む)	5,306



2018年 日本美容外科学会(JSAPS)調査委員会

充填剤注入による豊胸術

- 過去
 - 1950年代：液状パラフィン、ワセリン
 - 1960年代：シリコンオイル
 - 1988-2013年：ポリアクリルアミド ハイドロジェル
- 現在
 - 非吸収性充填剤
 - ポリアクリルアミド ハイドロジェル
 - アクアフィリングなど
 - 吸収性充填剤
 - ヒアルロン酸



調査背景

- 日本美容外科学会(JSAPS)・日本形成外科学会において充填剤注入による豊胸術後の合併症例が、永年にわたり報告されてきた
- 2016年、韓国の専門領域学会が、充填剤注入剤の一種であるアクアフィリングによる豊胸術を中止する勧告を発表した
- わが国でも、関連学会が連携して会員に注意喚起した
- その後も注入による豊胸術後の合併症報告が絶えなかったため、アクアフィリングを中心に実態をアンケート調査することにした

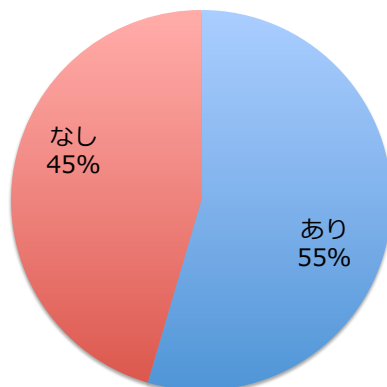
充填剤注入による豊胸術合併症調査

- 調査日時
 - 2018年6月15から7月10日まで
- 調査対象
 - 日本形成外科学会
 - 日本美容外科学会 (JSAPS)正会員
 - 3,874名
- 回答者
 - 132人
 - 施設は異なる
 - 他院施行例がほとんど

アンケート内容

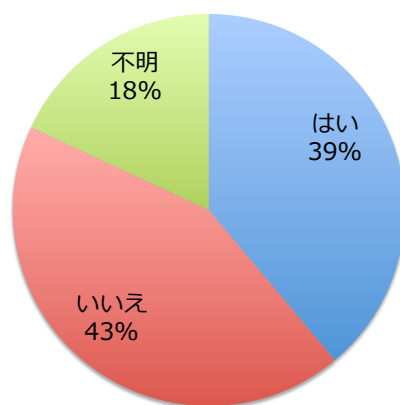
- ① 充填剤注入による豊胸術合併症例の経験はありますか？
- ② アクアフィリング注入による合併症？
- ③ ヒアルロン酸・その他の充填剤によるもの？
- ④ 合併症の種類は？
- ⑤ 何年前の注入？
- ⑥ 内容物の種類は？

充填剤注入による豊胸術合併症例の経験



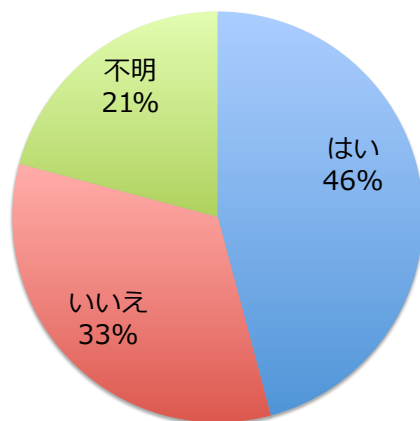
132人中、72名が合併症を経験

アクアフィリング注入による合併症例の経験



合併症例経験のある72人中、28人がアクアフィリング症例

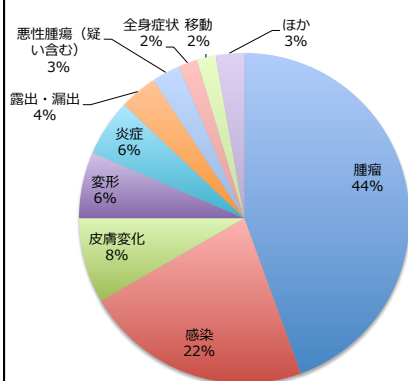
ヒアルロン酸・その他の充填剤による合併症



合併症例経験のある72人中、33人がその他充填剤症例

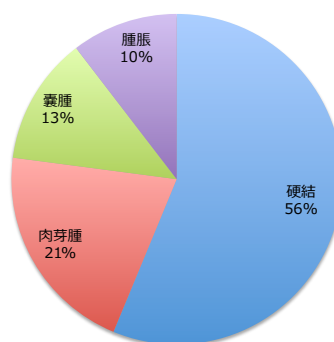
どのような合併症でしたか？

合併症の種類



総計108合併症

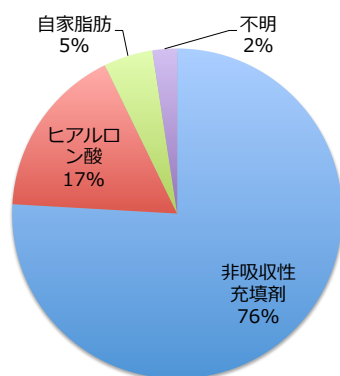
腫瘍の内容



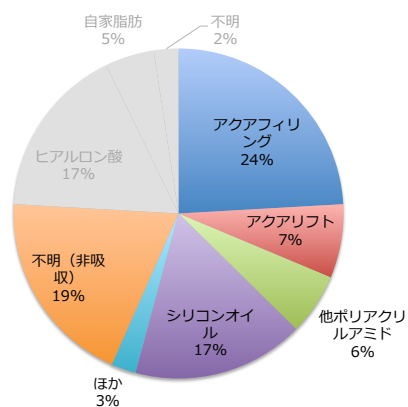
総計48腫瘍

内容物について

内容物の種類

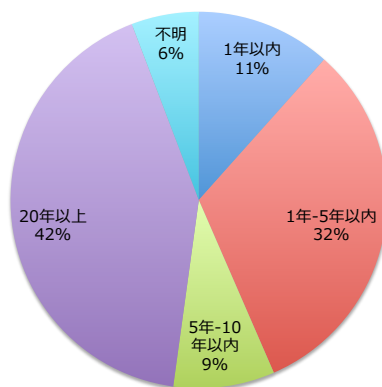


非吸収性充填剤の内訳



総計83種類症例

合併症の発生時期



半数以上が、5年以上経過した後に発症

アンケート調査のまとめ

- 2017年度、わが国の豊胸術は、46%が充填剤注入による豊胸術
- 回答者の半数以上（55%）に合併症症例の経験あり
 - その内、約40%がアクアフィリングによる合併症を経験
 - ヒアルロン酸・その他の充填剤注入による合併症も46%経験
- 症状は、腫瘍が最も多く、感染、皮膚変化、変形、炎症が続く。
- 原因となる内容物は、非吸収性充填剤が全体の四分之三を占め最も多く、中でもアクアフィリングが多かった。
- 注入後、1年内の発生は1割程度で、5年以上経過して発症するものが5割以上あり、長期的なリスクがある。

豊胸術 世界の趨勢

- ISAPS（国際美容外科学会）による国際調査
- 豊胸術は、シリコンインプラントと脂肪注入が世界の標準的治療

TOTAL PROCEDURES	2016	2017	% Change (overall volume)	% Change (for average surgeon)
Estimated Number of Plastic Surgeons	43,100	43,500	1% increase	
BREAST				
Breast Augmentation—saline	61,780	70,683	14%	13%
Breast Augmentation—silicone	1,449,337	1,469,606	1%	0%
Breast Augmentation—fat transfer	138,154	137,030	-1%	-2%
Breast Implant Removal	155,453	169,553	9%	8%
Breast Lift	583,192	657,832	13%	12%
Breast Reduction	465,665	489,146	5%	4%
Gynecomastia	236,371	243,272	3%	2%
Total Breast Procedures	3,089,952	3,237,123	5%	4%

Breast Augmentation—silicone は、豊胸術

一般社団法人 日本美容外科学会 (JSAPS)の意見

- 充填剤注入による豊胸術は、合併症リスクが高いと考える
 - 国際的には、シリコンインプラントや脂肪注入が標準的治療
- 過去にも、非吸収性異物注入による豊胸術後のトラブルが多く発生していた
 - 非吸収性充填剤の注入はおこなうべきでない
- 2016年、韓国の医学会はアクアフィリングの使用禁止声明を発表した
 - わが国でも、日本形成外科学会、日本美容外科学会 (JSAPS, JSAS)が連携して注意喚起している
- 充填剤注入による豊胸術を受けた患者さんは、術後長期間、専門の医療施設で健診を受けることが望ましい
- 豊胸術を含め美容医療を受ける患者さんは、治療を受ける前に、担当医からしっかりと説明を受けることが重要である